

かわさき区の宝物シート

宝物No.	かわさきだいしなかみせどおり
10-13	川崎大師仲見世通り

エリア	大師地区	シーズン	通年
	大師周辺	日時	

目的	<input type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input checked="" type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input checked="" type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物



写真提供：川崎大師仲見世通会

所在地	川崎区大師町（表参道と平間寺を結ぶ道）
問い合わせ	川崎大師仲見世通会
TEL	044-288-4437 (株)住吉
FAX	044-288-0303 (株)住吉
E-mail	
URL	http://www.e-daishi.net (e-大師ネット)
交通	京急大師線川崎大師駅より徒歩5分



基礎情報

■川崎大師の参詣客をはじめ、地元の人々にも広く親しまれており、法号「南無大師遍照金剛」や、十二支の守り本尊が彫金された街路灯のプレートもみどころ。食事処や、昔からの名物「久寿餅」、「せき止め飴」、「開運だるま」はもとより、新しく加わった名物を扱う土産店が軒を連ね、益々のにぎわいを見せている。

由来・エピソード

■江戸末期の『江戸名所図会』には、仲見世通りの様子として「かるやき・千代の飴・翁飴・くず餅・かりんとう・はまぐり・貝類・焼きハゼ・大森細工・白酒・ふぐちょうちん」の店々が描かれている。大師周辺にまだ農家が多かった頃までは大師名物として大森細工（麦わら細工）の土産物屋が多く参詣客の目を楽しませていた。大師の海で獲れた大師海苔やハゼ甘露煮、貝細工など海産物も多かったといい、また、かつて鈴木町にあった白酒の醸造元では、酒粕に六郷川沿いの名産であったウリを漬けた奈良漬も人気があったという。

■昭和初期の松竹蒲田の看板女優「川崎弘子」は、川崎大師近くに生まれ、仲見世の土産店で働いていたところをスカウトされた。芸名は苗字が出生地、名前は弘法大師から一字を貰ったという。名付け親となったのは、川崎河港水門を設計した当時の内務省多摩川改修事務所長であった金森誠之氏であった。

■「トントコ」とリズムカルに鳴り響く飴を切る音、参道のにぎわいの声が、平成8年(1996)に「日本の音風景百選」に選ばれた（『川崎大師の参道』、環境庁認定・日本の音風景検討会選定）。

補足・その他

--

関連シート

- (10-10)川崎大師表参道
- (10-14)川崎大師久寿餅
- (10-15)せき止め飴・さらし飴
- (10-16)川崎大師のだるま
- (10-17)川崎大師平間寺